

【オレンジドクターの成り立ち】

国は、認知症を理解し、認知症のある人や家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指して、「認知症サポーター100万人キャラバン」事業を展開している。

この事業の中で、住民・職場・学校等を対象として「認知症サポーター養成講座」を開催し、受講者に対して、認知症サポーターであることを示す「オレンジリング」（ブレスレット）を配布しており、オレンジは、認知症のある人や家族への応援カラーとして広く定着していることから、県では、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者等を、「オレンジドクター」の名称を付して、もの忘れや認知症の相談窓口として広く周知し、認知症の早期発見・早期対応の促進を図ることとする。

